

県南支部だより

平成28年12月20日発行
発行責任者 原田 仁稔
発行者 支部だより編集委員

特別講演会

8月20日(土) 14:30~労働福祉会館で、平成28年度県南支部特別講演会が開催されました。

始めに一般社団法人 福島県臨床検査技師会県南支部
椎根学術副部長司会進行のもと原田支部長から挨拶があり、
総勢52名の参加のもと開催となりました。



前半は特別奨励賞受賞者3名の発表を座長として、三嶋技師の進行で行われました。発表された演題内容は、

1. 「経口腸管洗浄液を用いた摘出臓器の一時保存法の基礎的検討」
白河厚生総合病院 病理診断科 松本浩子 技師
2. 「乳児期に急性虫垂炎を発症した一症例」
太田西ノ内病院 臨床検査部 生理検査科 田尻美千代 技師
3. 「坪井病院における細胞検査士養成への取り組み」
坪井病院 中央検査部 病理診断科 原田仁稔 技師

☆☆ 受賞に際しての感想 ☆☆

発表された皆様方は職場への感謝、今後の展望についての一言を伝えておりました。
参加されていた会員の方々には皆熱心に、内容を真剣に興味深く聴講されていました。

後半は原田支部長の座長のもとで、特別講演会が行われました。

講師として、中村病院臨床検査科、科長 金子隆子先生による「ベルギーから学ぶ女性の生き方」と題する御講演を頂きました。

金子先生は、平成28年度春の叙勲 瑞宝単光章を授与され、現在もエネルギーに活躍されています。

☆☆ 特別講演会の感想 ☆☆

ベルギーでは女性の職業意識が高く、家族も社会も協力的で、転職後も有休の期間が継続されることや、配偶者が海外に転勤になった場合は、一緒に付いて行くための休業期間が取得できるなどのお話があり、日本もこのような制度が多少でも導入されれば、男性や女性も互いの就業環境が良くなるのではと感じました。

検査技師は女性の多い職場なので、聴講された会員の方々は興味深く聴いていました。

特別講演会終了後は加藤事務局長の挨拶にて、無事に閉会致しました。



暑気払い

会場を郡山駅前「庄や」に移し、17:30から暑気払いの開催となりました。
支部長挨拶のもとで、みんなで、乾杯!! 今年の暑さを吹き飛ばしましょう!!



↑夏に負けじと、よく食べ、よく飲んでいきます☆



↑重鎮の方々和新人技師の方々です。



↑みなさん、楽しく歓談されていますね♪♪



↑金子先生も参加され、盛り上がっていました!

【編集後記】

今回、県南支部で一般公演・編集チーム編成があり、はじめての支部だより作成となりました。
大変遅くなり、季節も変わってしまい大変申しわけありませんでした。今後も邁進していきたいと思っています。